



# 南条っ子

## 南条小学校だより

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

令和6年3月6日発

第50号



### ○ 運動委員会の発表

2月26日(月)、運動委員会による発表がありました。なわとびマンが出てきて、いろいろななわとびの跳び方を紹介してくれました。初めて見る跳び方に、みんな驚いたようです。発表が終わると、大きな拍手がありました。



### ○ 読み聞かせ(4年生)

2月29日(木)、4年生を対象にした読み聞かせが行われました。子どもたちは集中して楽しそうに話を聴いていました。次回は、3月7日(木)に2、6年生を対象に読み聞かせが行われます。また、昼休みには紙芝居も行われます。どちらも楽しみにしてください。



4年1組

4年2組

### 【ミニコンサート】(2年2組)



2月29日(木)の朝の時間です。バイオリンを習っている児童が、クラスの児童の前で演奏をしてくれました。とても良い音色で、うっとりして優雅な気分になりました。

休み時間には、中ホールでも、ピアノの演奏が行われており、良い雰囲気です。

### ○ 6年生からのプレゼント for 南条っ子

3月1日(金)、6年生から1~5年生に向けて、劇やゲームなどいろいろなプレゼントがあり、下級生たちは、とてもうれしそうに受け取って(参加して)いました。卒業までの授業日が残り少なくなってきましたが、卒業前にとっても立派に成長した姿を見せてくれました。



### ○ 「旅立ちの日に」(卒業式の歌)

私が本校の校長になったのは、平成31年(2019年)4月1日です。(その年の5月1日からは、令和元年になりました。)校長になって初めての卒業式を2週間後に迎える令和2年(2020年)2月末、突然、3月2日から春休みまでの全国一斉休校(最終的に5月末までの3ヶ月間)が発表されました。「まさか卒業式ができないのではないだろうか」と不安に思う中で、何とか6年生(特別に登校)とその保護者、一部の教職員で、感動的な卒業式を行うことができました。また、残念ながらその後もコロナ禍が続き、昨年まで、全校そろっての卒業式を行うことができませんでした。そして、令和6年(2024年)3月14日、5年ぶりに全校がそろっての卒業式を行います。ここでは、「旅立ちの日に」が歌われます。

この曲は私の大好きな曲の1つで、平成3年(1991年)3月に、埼玉県秩父市立影森中学校で作られた曲です。作詞は、当時の校長先生、作曲は音楽教師でした。この2人が昭和63年(1988年)に赴任した始業式で、校長が抱いた最初の感想は、「校歌を歌う生徒たちの声の小ささ」でした。また、当時の様子を「正直言って、服装面も含めて乱れていましたね。声も小さく挨拶もなかなかできない。覇気のない生徒たちも多く・・・」と思ったそうです。そこで考えたのが、「歌の力で、学校を立て直す、再生したい。」そのための第一歩として掲げたテーマ。それが「歌声の響く学校」創りだったそうです。それから3年が経ち、「3年生を送る会」で、先生たちから卒業生へサプライズで披露されました。たった一度だけのつमりの曲が、平成4年(1992年)3月の卒業式でも卒業生たちによって歌われ、その歌声は秩父郡市の近隣中学校へ、さらに全国へと歌い継がれ、広がっていきました。その後、SMAPをはじめとしているいろいろなアーティストによってカバーされ、現在では世界各国でいろんな言葉に訳され、世界へと旅立っています。全校での合唱。楽しみでしかありません。